

請願文書表（令和 7 年 3 月定例会）

受 理 番 号	請 第 1 号
受理年月日	令和 7 年 3 月 3 日
件 名	北陸新幹線の小浜・京都ルートは撤回すべきであるとの決議を求める請願
請 願 者	京都府京都市右京区太秦朱雀町 二之湯 真士
紹 介 議 員	高橋 秀策
要 旨	【請願の要旨】 舞鶴市議会において「北陸新幹線の小浜・京都ルートは撤回すべきである」との決議を求める。 【請願の理由】 太平洋側との格差が拡大し、過疎高齢化の進行と経済の低迷に苦しむ京都府北部地域にとって、高速道路や高速鉄道等の交通インフラの整備促進は長年の悲願であり、かつ喫緊の課題である。 その中で、北陸新幹線の敦賀以西ルートについては、舞鶴ルートも候補に挙がったものの、平成 29 年 3 月に与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームが、「工期・工費・費用対便益」等の点から優位であるとして、小浜・京都間を大深度地下において長大トンネルで掘り進めるために京都府北部に受益がほばない小浜・京都ルートに決定した。 ところが、その小浜・京都ルートは、昨年 8 月に開かれた与党北陸新幹線敦賀・新大阪間整備委員会において、資材費高騰や人手不足が影響し、概算事業費が当初試算から 2 倍以上で最大 5.3 兆円にも膨らみ、工期も 15 年から最長 28 年に伸びることが国土交通省から報告され、ルート検討時の着工に係る前提条件に大幅な変更が生じた。 この試算に従えば、沿線自治体である京都府の事業費負担額も大幅な増加が見込まれる。それによって、新幹線建設以外の公共事業が減少し、山陰近畿自動車道の建設等の大規模事業が停滞するのみならず、生活に密接な老朽インフラの改修や更新が滞り、更には教育・福祉・産業支援など広範にわたる京都府の施策が縮小し劣化する等、多方面にわたり舞鶴市の市民生活や産業振興への悪影響が懸念される。 また、駅建設予定地の京都市においても、大深度地下における長大トンネル工事による地下水への影響、地上の陥没事故、膨大な建設発生土の処分、その運搬に伴う交通渋滞、過大な財政負担等に対する市民の不安が日に日に大きくなり広がっているのが現状である。 更に、工期の大幅延長が予想される中で、石川県など北陸地方からも小浜・京都ルートの見直しを求める声が上がっている。既に小浜・京都ルートは、京都府にも北陸にも、そして国家全体にとっても望ましいものでないことは明白である。
付託委員会	総務消防委員会